

啓発活動報告書

※全項目を記入してください。

令和7年10月18日（土曜日）	天 候	晴のち曇	
活動場所	鳩待峠	活動時間	7：45～11：20
<p>〈参加者番号・氏名〉 記入者に◎をつけてください。 ◎ 980</p>			
<p>〈当日の具体的なボランティア活動のコーディネート（班分け・活動内容等）〉</p> <p>・入山口での啓発活動</p> <p>尾瀬ヶ原入口において、入山者への啓発活動を実施。</p> <p>夏のピーク時に比べ軽装者はほぼ無く、全体的に妥当な装備等であったので、その点では安心して見送ることができた。特に危険なこと、突発的な出来事もなく、穏やかに活動できた。</p> <p>中国系、韓国系の団体ツアーが多く、言語の壁に苦戦した。</p> <p>・巡回美化活動</p> <p>18～19日に向け、鳩待峠～山ノ鼻間の美化活動を実施。お菓子の入った袋など、少しではあるが、落とし物が目立った。</p>			
<p>〈引継事項（状況・特記事項等）〉</p> <p>・トイレの場所、バスチケット購入の場所について何件かの質問を受けた。</p> <p>・新設のカフェ形式の施設は午前9時開店のため、早朝の雨模様、風のある時、寒い時に入山者が退避できる場所がない。今のところ閉店した旧休憩所を使わせていただいているが、明らかに老朽化してきている。是非、簡易的な無料休憩場所を残しておいてほしい。</p> <p>・中国、韓国からのツアーがかなり多いとなると、入山口に常に外国語の案内看板が設置されていると安心かもしれない。</p>			
<p>〈ふりかえり（反省と改善方法、気づいたことなど）〉</p> <p>今回は久々の入山口啓発活動であったが、特に問題なく終わり、安心した。</p> <p>今後の課題として、鳩待峠を山岳リゾート化しようとするのはよいが、早朝や悪天候時の退避場所が確保できない不便さ等について、鳩待峠の整備をお願いしたいと思う。</p>			
<p>※報告内容のホームページ・機関誌等への掲載について（報告者は登録番号のみ表示）</p> <p><input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否 （いずれかに○を付けてください）</p>			